

平成 2 0 年度
経済文化局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 0 年度経済文化局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 0 年度経済文化局経営方針 4
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 6
（ハートフル北九州構築関係）
- 4 事務事業の見直し 1 3

1 平成20年度経済文化局予算要求総括表

【一般会計】

平成20年度要求総額 7,927,840千円
 (平成19年度予算額 8,079,783千円)
 前年度比 1.9%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
携帯電話を活用した観光情報の発信強化事業	2,800	1,100	1,700
北九州空港を活用した国内プロモーション事業	51,160	81,500	30,340
⑨ 東アジアゲートウェイ観光プロモーション事業	38,340	-	38,340
門司港レトロ・関門海峡ブランド化推進事業	47,200	45,700	1,500
門司港レトロ観光列車推進事業	333,250	27,600	305,650
旧JR九州本社ビル保存活用事業	9,200	9,200	0

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業	57,955	22,200	35,755
⑨ 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念事業	11,156	-	11,156
「明日の農林水産業を考える懇話会」運営経費	2,900	1,600	1,300
⑨ 求む！農業従事者育成事業	2,100	-	2,100
未来につなげ！給食・食育推進事業	2,506	3,734	1,228
⑨ (仮称)カニ・カキロード設定事業	14,246	-	14,246
フィッシャリーナ整備事業	120,000	547,500	427,500

【中央卸売市場特別会計】

平成20年度要求総額 1,150,559千円
 (平成19年度予算額 998,600千円)
 前年度比 + 15.2%

【渡船特別会計】

平成20年度要求総額 513,198千円
 (平成19年度予算額 369,700千円)
 前年度比 + 38.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増減 A - B
① 若戸航路 新船建造事業	145,530	-	145,530

【国民宿舎特別会計】

平成20年度要求総額 18,726千円
 (平成19年度予算額 13,100千円)
 前年度比 + 42.9%

【競輪、競艇特別会計】

平成20年度要求総額 108,881,000千円
 (平成19年度予算額 85,737,000千円)
 前年度比 + 27.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増減 A - B
競輪事業	30,760,808	29,054,455	1,706,353
競艇事業	78,120,192	56,682,545	21,437,647

【漁業集落排水特別会計】

平成20年度要求総額 40,407千円
 (平成19年度予算額 30,300千円)
 前年度比 + 33.4%

2 平成20年度経済文化局経営方針

都市部から農漁村までのまちのにぎわいづくりや文化を親しむまちづくりを推進するために、「観光」、「文化」、「国際交流」、「農林水産業」等の振興を図ります。平成20年度は、「ブランド力のある北九州」の構築を促進し、「ハートフル北九州」の実現を目指します。

(1) 集客交流の推進

北九州空港を活用し首都圏・東アジア等からの集客を促進する。

皿倉山からの夜景を活用し、本市の新たな観光の魅力を創出する。

観光客に対するおもてなしの充実を図り、観光地としての質を高める。

(2) 門司港レトロ振興の推進

関門海峡を中心とした「関門エリア」の全国ブランド化を推進する。

臨港鉄道及び旧JR九州本社ビルを利活用した魅力ある観光拠点を整備する。

門司港レトロ長期計画を策定する。

- (3) 都市の文化力の向上
北九州芸術劇場を拠点とした「創る、観る、育つ」をコンセプトとした事業を実施する。
音楽や芸術など文化に親しむ市民活動を支援する。
新たな芸術文化拠点として「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」の開設に向けた準備を行う。
- (4) 国際交流及び多文化共生の推進
姉妹友好都市などとの交流事業及び周年事業を実施する。
次世代を担う青少年の海外諸国との相互理解促進を目的とし、東アジアを中心とした海外からの修学旅行等を誘致する。
- (5) ビジネスとしての農林水産業の育成
新たな農業従事者の担い手を確保するための農業生産に関する研修等を実施する。
本市で生産された農産物を市民が消費する「地産地消」を推進し、また、市内で漁獲された水産物のブランド化を推進するためにイベントを実施する。
水産資源増産のために種苗の育成や放流等を行う。
- (6) パートナーとしての消費者育成
食と農への理解促進や豊かな食文化の継承と発展を目指し、農作業の体験や食育講座を開催する。
市民が農にふれ合う場のあり方の検討を行う。
- (7) 都市と農漁村の交流・協働
市民が憩い安らげる場を拡大し、海洋性レクリエーションの拠点となるフィッシャリーナの整備事業を継続して実施する。

3 重点的に取り組みを行う主なもの（ハートフル北九州構築関係）

(1) 都市型観光の振興

「国際観光都市・北九州」として一層成長していくため、都市としての魅力を活用しながら観光地としての質を高めるとともに、官民協同により観光振興に関する具体的施策を推進していく。

携帯電話を活用した観光情報の発信強化事業 2,800 千円
(事業概要)

観光客のニーズに対応したタイムリーな観光情報を提供するため、携帯電話を活用した情報発信の強化を行う。

⑨ 皿倉山夜景観光推進事業 17,002 千円
(事業概要)

「100億ドルの夜景」と謳われ、新日本三大夜景のひとつに選定されるなど、200度以上に広がるパノラマの夜景が楽しめる皿倉山頂からの夜景を活用し、本市の新たな観光の魅力として夜景観光を推進する。

(2) 北九州空港を活用した観光客の誘致

北九州空港開港により、首都圏や東アジアをはじめとする国内外の路線就航地域一帯が集客エリアとして見込まれることから、同エリアを対象とした観光PR活動など、北九州空港を活用した観光客誘致を推進する。

北九州空港を活用した国内プロモーション事業 51,160 千円

(事業概要)

首都圏や沖縄など就航路線地域での観光PRや、旅行商品造成に向けたセールス活動などにより、北九州空港を利用する観光客の増加を図る。

⑨ 東アジアゲートウェイ観光プロモーション事業 38,340 千円

(事業概要)

北九州空港に加え、平成20年度に門司港と韓国・釜山港とを結ぶ国際定期航路の開設が予定されることから、韓国や中国などを対象とした観光プロモーション活動の充実や、旅行会社に対する北九州空港等を活用した旅行商品造成の働きかけなど、東アジアのゲートウェイに向けた取組みを強化することにより、海外からの観光客の誘致を推進する。

【成果指標】(1)、(2)全体の成果指標

観光客数

【目標】 1,157万人 (18) 2,000万人 (25)

【効果】 843万人

宿泊客数

【目標】 98万人 (18) 200万人 (25)

【効果】 102万人

(3) 門司港レトロ・関門海峡ブランド化の推進

安定的で持続的な集客を図るため、関門海峡を中心とした『関門エリア』の全国ブランド化を推進する。

また、地元まちづくり団体や観光事業者等との連携による魅力あるイベント等を開催するなど、一層の受入体制の充実を図る。

門司港レトロ・関門海峡ブランド化推進事業

47,200千円

(事業概要)

安定的で持続的な集客を図るため、下関市、旅行エージェント、交通事業者等と連携し、広くPR・プロモーションの展開による集客システムの構築や、地元、観光事業者等と一体となった受入体制を充実することで、関門海峡を中心とした「関門エリア」の全国ブランド化を推進する。

(4) 臨港鉄道及び旧JR九州本社ビルを活用した魅力ある観光拠点の整備

観光エリアの拡大や回遊性の向上を図るとともに、門司港地区全体の魅力を高めるため、「レトロ観光列車」の運行や「旧JR九州本社ビル」の保存・活用を推進する。

門司港レトロ観光列車推進事業 333,250 千円

(事業概要)

観光客の回遊性向上、滞在時間の長時間化を図るとともに、新たな広域観光ルートの形成を目指すため、既存ストックである臨港鉄道を活用して、門司港レトロ地区と和布刈地区との間に観光列車を運行する。

平成20年度は、平成21年度の開業を目指して、車両やホーム等の整備を行う。

旧JR九州本社ビル保存活用事業 9,200 千円

(事業概要)

門司港駅前に位置する歴史的建造物である旧JR九州本社ビルを、新たな魅力ある観光拠点として保存・活用する。

平成20年度は、民間のノウハウや資金を活用した事業手法により、管理運営に係る事業者を公募・選定する。

(5) 将来展望を見据えた「門司港レトロ長期計画」の策定

門司港地区全体の魅力を高め、発展させるためには、新たな観光拠点の整備や観光エリアの拡大等に取り組むとともに、受入体制のさらなる充実などを図る必要があることから、将来展望を見据えた長期計画を策定する。

門司港レトロ長期計画策定事業 1,921 千円

(事業概要)

地元や観光事業者等の意見を幅広く取り入れ、ハード・ソフト両面にわたる長期計画を策定する。

平成20年度は、平成19年度に作成した「門司港レトロ長期計画(素案)」をもとに、広く市民から意見を伺うため、パブリックコメントを実施し、門司港レトロのグランドデザインとなる長期計画を策定する。

【成果指標】(3)、(4)、(5)全体の成果指標

観光客数(レトロ地区、和布刈地区)

【目標】 334.8万人 (18) 350万人 (20)

【効果】 15.2万人

(6) 市民が芸術、文化に接する機会の提供

質の高い国際的・全国的な公演を開催するとともに、ワークショップなどを実施して、市民が芸術・文化に接する機会の拡大を図る。

北九州劇場文化活性化事業

229,000 千円

(事業概要)

平成15年8月にオープンした北九州芸術劇場を核として、「創造事業」「公演事業」「学芸事業」など、市民が優れた芸術文化を享受できる活動を行うことにより、10年後の北九州での「劇場文化」の開化を目指して事業を継続していく。

(7) 文化施設および地域文化拠点の整備

芸術文化を核としたまちづくりを推進するために、各種文化拠点となる施設を整備する。

(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業

57,955 千円

(事業概要)

松本零士氏をはじめとする地元ゆかりの漫画家とその作品を中心に、さまざまな漫画の魅力を幅広い世代に伝える漫画文化の拠点施設「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」の開設に向けた準備を行う。

(8) 国際交流の推進

アジアのゲートウェイとしてふさわしい国際都市を目指し、これまでの姉妹・友好都市との周年記念事業などの事業成果を踏まえ、各都市との交流推進を図る。

⑨ 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念事業

11,156 千円

(事業概要)

韓国・仁川広域市との姉妹都市提携20周年を記念して、両市の間で交流記念イベントを実施する。

国際相互理解促進に向けた青少年交流推進事業 1,260 千円
(事業概要)

中国・韓国を中心とした海外諸都市からの修学旅行などの誘致を積極的に行い、本市の青少年との交流事業を通して、次世代を担う青少年の国際理解促進事業を展開する。なお、本事業はビジターズインダストリーの振興にも寄与するものである。

(成果指標)

青少年受入・学校間交流件数

(目標) 6件 (18) 10件 (20)

(効果) 4件

(9) 外国籍市民支援事業の拡充

外国籍市民や留学生の増加を視野に入れた「多文化共生社会」の実現に向けた取組みを行い、外国籍市民が地域社会の構成員として快適に生活できる環境づくりを推進する。

外国籍市民日本語教室・子育て支援事業 1,000 千円
(事業概要)

子どもを持つ外国籍市民を対象に、日本語を学べる場の提供と子育て支援を同時に行う。平成19年度試行的に実施した本事業を、日本語教室の回数を増やして本格実施する。

(成果指標)

日本語教室参加者数(平成19年度から実施)

(目標) 平成20年度170人(延べ)

(10) 農林水産業の振興

就業者の高齢化、遊休農地の増大、水産資源の減少、食の安全性の問題など、農林水産業が抱えている課題に対応し、ビジネスとして魅力ある農林水産業としていくため、担い手の育成、地産地消・ブランド化の推進、つくり育てる漁業の取組みなどを進めていく。

「明日の農林水産業を考える懇話会」運営経費

2,900 千円

(事業概要)

農林水産業が抱える課題について、生産者、消費者、流通関係者などから幅広く意見を聴き、今後の農林水産業振興施策に反映させる。

(成果指標) 農林水産業振興施策への提言

⑨ 求む！農業従事者育成事業 2,100 千円

(事業概要)

農業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、新たな担い手を確保するため、農業に関心のある市民を対象に農業生産に関する研修を実施し、農業生産活動に従事してもらうよう誘導する。

(成果指標)

研修参加者数(平成20年度新規事業)

(目標) 平成20年度 10名

地産地消推進事業 2,100 千円

(事業概要)

新鮮で安全・安心な農産物を積極的にPRするとともに生産者と消費者と他産業との連携を図り三者の距離を近づける関係作りを行う。

未来につなげ！給食・食育推進事業 2,506 千円

(事業概要)

豊かな食文化の継承と発展を目指して、市内産給食への使用促進と新たな産地づくりに取り組むとともに、児童の農業体験等を通じた食育の推進を図る。

(成果指標)

学校給食での使用野菜上位4品目(たまねぎ、じゃがいも、キャベツ、にんじん)の市内産使用率

(目標) 平成22年度 20%

⑨ (仮称)カニ・カキロード設定事業 14,246 千円

(事業概要)

「豊前海一粒かき」「豊前本ガニ」のブランド力強化のため、豊前海沿岸にある道路(生産地近辺)に名前をつけることにより、生産者の意欲向上、魚価の安定、観光客の集客力向上(ビジターズインダストリーの振興)につなげる。

(成果指標)

市民のブランド認知度

(目標)

・一粒かき	42%	(17)	50%	(22)
・豊前本ガニ	0%	(17)	30%	(22)

(効果)

・一粒かき	8%
・豊前本ガニ	30%

生き生き水産事業 29,301 千円

(事業概要)

漁業者が、市民生活を支えているというやりがいを持ち、「生き生き」と漁業を行うため、水産資源の開発、漁業活性化等を図る。

水産物供給基盤整備事業(漁場分) 30,000 千円

(事業概要)

漁場・増殖場の造成や漁場環境の保全により、漁場資源の維持増大、漁業者の所得向上及び、新鮮で安全な水産物の安定供給を図る。

(成果指標)

漁獲量(対象水域・対象漁種)

(目標)	298トン	(13)	~	(17)	の平均
				(21)	~ (25)の平均(見込み)

(効果) 22トン

フィッシャリーナ整備事業

120,000 千円

(事業概要)

若松区脇田地区にプレジャーボート等の係留施設を、PFI等の民間活力を導入して整備し、海域の適正な管理を図るとともに、隣接するフィッシャーマンズワーフや周辺の親水施設と連携して、漁村と都市住民との交流ふれあいを促進し、地域の活性化を図る。

(成果指標)

「ひびき海の公園」年間利用者数

(目標) 72万人 (18) 80万人 (24)

(効果) 8万人

4 事務事業の見直し等

(1) 事業の見直し・縮減などによる削減

北九州国際交流協会の事業等を見直しを行い、本市の国際施策を具体的に推進するために、民間団体等の育成・調整機能や、外国籍市民への生活相談・支援を多面的に行う機能を強化するもの。

また、自治体職員協力交流事業については、海外からの研修受入分野を技術系に絞り、受け入れする研修員の人数を減らすものなど。